

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	12-	11
事業名	林業経費	
会計	款	項 目
一般	6	1 5
施策	4 快適なまち	課名 産業課
	4-1 環境と共生するまちをつくる	係名 土地改良係
	4-1-3 景観の形成	
主要施策	①景観の保全	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	暮らしに身近な森林を整備することにより、生活環境の保全や向上を図ります。
事業内容	危険木伐倒等業務 みえ森と緑の県民税交付金を活用し、これまで整備が進みにくく、荒廃が進んでいる緑地帯や森林地帯を対象とした整備を集中的に実施します。 また、人家裏や通学路沿いで倒木の恐れのある危険木の除去等も行います。 林業業務 森林にかかる許認可事務をはじめ、法定により整備することとなった林地台帳の整備と運用を行います。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1	危険木伐倒本数		181	121	本	↓	20
2								
3								
4								
5								
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)			
全体事業費(千円) A+B				5,630	30,472	5,118		
財源内訳	直接事業費 A			5,630	27,172	1,818		
	うち一般財源			58	1,767	117		
人件費(千円) B				0	3,300	3,300		
内訳	一般職員(人・千円)			0	0.5	3,300	0.5	3,300
	臨時職員(人・千円)			0	0	0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	VI 縮小(改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	みえ森と緑の県民税市町交付金を財源としていることから、事業の内容に制約が多い。
②H30年度に実施した取り組み	林地台帳を平成31年度4月公表に向け整備。また、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した危険木伐倒事業及び木製遊具整備による木育の推進。	④今後の改善計画	笹尾・城山地区の危険木について計画的(5年)に伐倒を行い一定の成果が出たことから、今後はこの水準を維持する。また、交付金の一部を基金に積立て、公共施設の木質化を推進する。